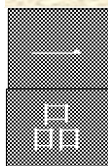


こぼれ話

新型コロナウイルス感染対策で世の中は「自粛要請」が続き商売をしている方は売上げの大幅な減少などで四苦八苦している。そんな中で宮古市は売り上げが減少した事業者に一律20万円の給付金を支援する措置を発表し、多くの事業者が市役所に押しかけている。A「いや、今回の市の対応はいいがな」。B「なにより早急の条件を難すねえ」

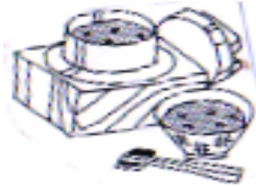
わが家の



【シドケと鯉の削り節のお浸し】

「材料」シドケ、鯉の削り節、練りわさび、生醤油とめんつゆ。

「つくり方」山菜もウドやワラビ、そしてシドケがあっちこちから廻ってくるように(おすそ分け等)なりました。わが



家では夫も息子も私もこのシドケは大好きで一気に食(八木沢団地/S・K)

の「いい」などと喜んでる。磯鶏のあるお店でも、そんな話をしながらラーメンをすすっている3人組がいた。D「俺は少す銀行から融資を受けついでと考えることも、どごがいいと思うや？」と尋ねた。E「どれぐれも借りるつもりや？」「200万円ぐれえだども」。そんな会話を聞いていたFが「それでええ信金が岩銀のどつがだべ」と答えた。D「信金が岩銀が、か？」。Fが続けた。「銀より金がいいに決まってるええが！……！」

コロナ対策

13日現在：事業継続給付金20万の申請660件に

「一人たりとも残さない」の願いが

5月1日から受け付けが始まった「事業継続給付金」(市単独事業/一律20万円の給付金)の申請受付件数は13日(水)現在660件です。さらに11日からの県と市で支援する「家賃補助金」(売上50%以上の減/補助率4分の3、月の補助上限15万円)の申請受付

件数は56件と、短期間で急増しています。宿泊業、サービス業、卸・小売り業と申請つづく市の担当課によれば、対象事業所の申請見込み予想の70%超は宿泊業で、次は理美容業、料飲食業、卸・小売り業などと続くと分析しています。議会が議決した予算額

(4億円/一律20万円の事業継続給付金)の対象事業所数は2000件ですが、これから申請の身、手続きの簡便さが浸透すれば増えると思われる。この間、共産党市議団が事業所回りをして痛感していることは①支援策の内容が意外に知らされていないこと。②手続きが震災時のような手続きの煩雑さを改善するよう求めていきます。改めて周知徹底の方法を検討し、推進する必要があります。



読者の文芸欄

短歌

金沢邦臣(田鎖)

● 玄関に挿したる白き水仙のすらり一輪人恋いて立つ
● 草引けば慌てて逃げる小さき虫 吾いつぱしの強き者なり

自注/我ら庶民はなかなか強い者には成れませんが、草取りなどをしていくと、一時その気分です。「お前ら去れ」と。

トラウトサーモン…3回の水揚げ計7.6トン、生育も値段も好調！

キロ600円～1000円台で推移



7月まで水揚げする計画ですが、海水温の状況を見て水揚げ期間は判断するとしています。

海面養殖してきたトラウトサーモンは4月24日(金)の初水揚げから5月1日、8日と3回の水揚げが行われました。概況を紹介します。わずか400匹の稚魚が半年で5倍～10倍に生育！水揚げされたトラウトサーモンは昨年11月8日、10日に平均1尾400匹の状況で生簀(いけす)に投入され海面養殖されたもので、大きいもので4kg超(2kg以上を水揚する計画)です。値段は高値1000円から、安値600円台と好調です。この間3回の水揚げ量(重量)は7.6ト(7600

すでに食した方の評判は上々です。なお「寄生虫は大丈夫か？」の懸念には「種苗生産からペレットEP飼料による養殖、出荷まで生簀で育てるので大丈夫」とのことです。当初は初水揚げ前に関係者に広く案内をし「試食会」を行ったうえで出荷する計画でした。今後「3密対策」、規模縮小などを考慮し検討するとしています。養殖実験から漁業権設定で本格的に事業化へ現在は実験段階ですが事業化するためには漁業権を取得する等の課題が生じてきます。



大型連休も終わった。さすがに首都圏方面からの釣り吉の姿は見えなかつた。これで「岩手に釣りに行つてくる」なんて言ったら袋叩きにあうにきまつている。西が丘の釣り吉は岩泉・大川の元製材所跡地周辺から釣りあがった。5月4日早朝のこと。エサはチョロ虫とミミズ。脈釣り、針は半スネリ7号。水量豊富で深みの瀬の連続だ。最初はミミズで挑戦。木の橋の数以上流に流し沈める。一気に橋の下に引き込まれる。「やばい！上流に引き上げねば」と格闘し20秒の幅広ヤマメが。橋の下にもぐられると合わせが面倒になるが、穂先を水面近くにおろし引き上げるしかない。12尾の釣果。なんかいぞ！

